

令和元年8月3日（土） 牧野明剣館

三中にて。準備体操の後、素振りを一緒に行う。始めの礼で、今月の来たる2つの大会に向けての激励、そして夏の間に6年生以上は剣道形七本を身につけるようにと話す。木刀の稽古法。続いて剣道形の稽古、今日は6本目。手順を身につけるに終わらず、繰り返して稽古して習熟する段階になることを願いつつ。面を着けて基本稽古。時間が押していたが、きっちりといつものメニューを行う。高段者の元立ち同士の地稽古を行い、他は休憩。元立ちが休憩して、小中学生、一般の地稽古。高段者等が元立ちの引き立て稽古。今日は短時間、初たちに集中。切り返して締める。

令和元年8月4日（日） 牧野明剣館

渚体育館2Fにて。剣道形の稽古。健と凌で太刀7本行った後、6年生以上で7本目の稽古。その後1本目～7本目を通して行う。計画的に7本を行ってきたが、身についたといえるまでには、まだ稽古が必要。始めの礼。この夏の間に剣道形太刀7本を身につけるようにと。12日(月祝)と25日(日)の大会に向けての激励。準備体操の後、指導しながら一緒に素振り。面を着けて基本稽古。今日も基本技をきっちりとする。中学生以上で突き技を入れる。正しく行えば面や小手のように行える。。。休憩を入れて地稽古。元立ちによる引き立て稽古。その後、元立ち同士、中学生同士、小学生同士で。小中学生の掛かり稽古。切り返して締める。

令和元年8月8日（木） 牧野明剣館

総合体育館1Fにて。準備体操、素振りを指導とともに一緒に行う。始めの礼の後、剣道形の稽古。少し時間をかける。最後に健と太刀7本を行う。面を着けて、最初に地稽古（引き立て稽古）を行う。当日のアップが不十分でも、試合本番では全開で動けることを期して。続いて基本稽古。一通りのメニューをきっちりとする。今日も高学年以上で突き技を入れる。休憩をはさんで地稽古。最初に大人が元立ちの引き立て稽古。続いて元立ち同士、小学生同士、中学生同士で稽古。切り返して締める。

令和元年8月10日（土） 牧野明剣館

15:00～渚体育館2Fにて。変則時間帯での稽古。準備体操の後、素振りと一緒に。始めの礼。明後日の試合で万全のコンディションで臨めることも実力のうちであり、既に試合は始まっていることを説く。剣道形の稽古。来訪の松延さんと菊池さんにも手伝ってもらって、6、5、4本目と順に稽古。時間をかけて行う。面を着けて、今日も地稽古（引き立て稽古）から行う。1試合目の立ち上がりの集中力の大切さを説く。基本稽古。一通りのメニューをきっちり行う。休憩をはさんで、試合稽古。審判をしながら気の付いたことを指導する。地稽古。引き立て稽古。続いて元立ち同士、中学生同士。高学年同士、低学年同士で。切り返して締める。

令和元年8月11日（日） 牧野明剣館

9:00～渚体育館2Fにて。準備体操、素振りを見守って、始めの礼。明日の試合に最高の状態で臨むことを念頭において稽古することを説く。剣道形の稽古。7本目のみを指導して行わせる。終わりに渡邊さん打太刀、私が仕太刀で太刀7本を行う。小中学生が面を着けて、初めに地稽古。今日も立ち上がりの集中力の必要を説く。私と渡邊さんも面を着けて基本稽古。今日はすべてのメニューを1回だけに。精度と集中の大切さを説く。休憩をはさんで、試合稽古。今日は明日を見据えて、相手を変えて行う。低学年は相手の関係で十分できなかった。明日試合を行う井上君と立合い。地稽古。今日は全員で1巡。切り返して締める。明日の収穫を期待する。

令和元年8月12日（月・祝） 大阪府道場連盟個人錬成大会

枚方市総合体育館2Fメインアリーナにて。個人トーナメント戦。監督として、ほとんどの子どもの試合に付き添う。遠方から野中君、山本基成君が道場対抗に参加。井上君、山本君が審判として協力。開会式後、自分の持てるものを出し切ってくるように激励。相手の選手の勝負に対してどん欲なまでの工夫は、明剣館の子ども達にとって参考になったところ大であると思う。随所に日頃の稽古の成果を出せた部分もあった。地の利を生かした試合を期待したが、遠方から来た他所の子ども達の執念を感じるころが多かった。個人戦

の後、道場対抗戦に参加。健、顕士の小中学生2人と野中君、山本君、井上君を合わせて計5名で編成。厳しい試合となったが、見所満載。山本君の相手を制した場面は圧巻。いい1日になった実感。

令和元年8月15日（木） 牧野明剣館

渚体育館2Fにて。台風10号が来ている中であるが、安全面を確認した上で実施。準備体操の後、素振りを指導しつつ一緒に行く。打ち下ろした瞬間の大切さを強調。始めの礼。12日(月祝)道場連盟個人戦の概観。試合における相手とのやりとりを自分の試合のみならず見取り稽古で学ぶように説く。6年生以上はこの夏に剣道形太刀7本をマスターするように話す。剣道形の稽古。井上君に智稀と大樹の基本動作をお願いして、菊池さんが凌を、私が美月と暉を指導。7本目まで上がりの子どもが2人。これからの形の稽古が少し楽しみ。面を着けて基本稽古。普段のメニューをきっちり行う。休憩をはさんで小中学生の試合稽古。私は審判をしながら、指導を行う。好機は一本にして終えたいところ。地稽古。1分30秒で1巡。小中学生の掛かり稽古。切り返して締める

令和元年8月17日（土） 都工剣道部OB稽古会

都工剣道場にて。15:00基本稽古が終わって休憩中、磯谷先生と都工の部員6名、OBの三宅君と千田君の中に加わる。地稽古。元立ちに立って都工の部員と稽古。左足と足先・腰先、腹についての助言。最後に三宅君と。目一杯の攻防。終わりの礼の後、都工の部員全員が来てくれたので、稽古中の助言のまとめと7月末のOB総会の試合稽古について気をつけていたことをの助言。いい稽古をさせて貰った実感で帰途につく。

令和元年8月18日（日） 近畿地区国立大学体育大会（剣道）

大阪教育大学体育館にて。第1試合場の審判員を務める。大学生のスピードとパワーに溢れた試合、特に気合を入れて行う。太田順康先生、那須先生、佐藤誠先生のご指導に接する機会を得た他、多くの先生方との情報交換、知己を得たことも有意義であった。猛暑

の中、好試合を展開する学生たちに好感。枚方出身の学生の活躍も嬉しく目を細めて見守る。女子個人戦で準優勝した香里の佐藤恵(京大)さん、女子団体の優勝メンバー牧野の安荘真気(大教大)さん。猛暑であったが楽しい1日となる。

令和元年8月18日(日) 牧野明剣館

伊加賀体育館1Fにて。準備体操の後、今日も素振りを指導しつつ一緒に行く。始めの礼。来週に控えた守口大会に向けて激励。剣道形の稽古。松田君、菊池さんの協力を得て、個人指導の形で行う。低学年2人の足捌きを井上君にお願いする。面を着けて基本稽古。普段のメニューを今日もきっちりと行う。休憩の後、小中学生の試合稽古。1本にする確実さと勝負のための工夫を臨みたいところ。地稽古。小中学生の回り稽古。高段者の元立ちで小中高生の引き立て稽古と掛かり稽古。元立ち同士の稽古。切り返して締める。空調が効いて心地よい。都工の池田君が参加。地稽古から下野君が参加。和気藹々と稽古を終える。

令和元年8月22日(木) 牧野明剣館

総合体育館1Fにて。40分程遅れて道場に入る。子ども達が自主的に踏み込み足打突の稽古をしている姿に目を細める。始めの礼の後、木刀の稽古法、続いて剣道形・太刀7本の稽古。美月の形が良くなってきた。面を着けて基本稽古。いつものやり方で今日もきっちりとメニューをこなす。小学校低学年の子ども達の上達に見入る。途中から井上父子、志賀さんが加わったので、子ども達の休憩中に、私を含めて4人で再度基本稽古。小学生の試合稽古。打途が1本になりきらないところにもどかしさを感じながら指導を並行する。地稽古。高段者と中学生の元立ちで引き立て稽古。続いて掛かり稽古、切り返し。元立ち同士の稽古、切り返して締める。終礼時に、2人の子が使用していた手拭い「明鏡止水」を先日に続いて再度説明、加えて合宿で取り上げた「攻心为上」の説明を再度行い、今日の試合稽古の課題と重ね合わせて話す。

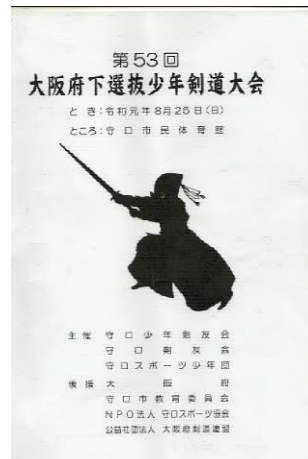
令和元年8月24日（土） 牧野明剣館

三中にて。準備体操、素振りの後、始めの礼で明日の守口大会に向けて激励。面を着けて基本稽古。普段のメニューをきっちりと行った後、応じ技を入れる。元立ちにハードになってしまった。休憩をはさんで地稽古。高段者が元立ちの引き立て稽古。打突の機会に1本の技を出すように注意。続いて、元立ち同士、中学生同士、一般と初級者のグループに分かれて。自分の動き、間合いの攻防、技の切れには不満。切り返して締める。明日の守口大会を楽しみに解散。

令和元年8月25日（日） 大阪府下選抜少年大会（守口大会）

守口市民体育館にて。個人戦4クラス各1名ずつ、および団体戦小学生・中学生各5人チーム。私はチームの監督にあたる。午前中個人戦。4人の選手の戦いぶりに目を細める。しかし、試合については、明剣館の子ども達にはまだまだ伸びしろがあると感じる。午後からの団体戦、小中両チームとも頑張りが目立った。特に中学生のベスト8進出の健闘は特筆に値する。1人1人が自分の持ち味を発揮してチームとして頑張っていたのが、評価できる。個人戦・

団体戦を通じて、有効打突または近い技が出るたびに大声で「よっしゃー！」。私も間もなく還暦の誕生日を迎えるいい年の大人であり、如何なものかと思うのだが、子どもたちの戦いぶりに熱くもなり、少しでも後押しできればと思いつつ。。。子ども達も明日以降の稽古のエネルギーに、保護者の方々にもご支援の活力になったのではと思う。楽しいいい1日になった。この大会のプログラムには歴代優勝者の記録が掲載されており、かつて殿二小や三中剣道部と一緒に稽古した内藤先輩の名前が毎年記されており、懐かしく思い出される。今回も子ども達や保護者の方々に紹介した。



令和元年8月27日（火） 牧野明剣館

三中にて。道場に入り、青田さんの切り返しの指導を引き継ぐ。「正しく、大きく」を強調して切り返しを繰り返す。正面、小手、胴、小手面も然り。正しく、大きく、力強く、滑らかに、そしてできれば素早くと。途中から凌と暉が加わる。ほかの小中学生が休憩する間、2人の基本稽古を指導。右足が先、それを支える左足。腹に力を入れて。地稽古。一般・中学生が元立ちで引き立て稽古。続いて元立ち同士に3年以上の小学生を加えてけいこ。最後に井上君と2人で中学生の稽古を受ける。基本の復習。腹、そして足を指導。皆、切り返しで締める。終礼で正しく行う意識を強く持つことの大切さを説く。

令和元年8月31日（土） 枚方剣協昇級審査会

9:00～総合体育館武道場にて。枚方剣道協会主催の昇級審査会。智稀君の受審の応援に行く。実技、木刀の稽古法を通じて、智稀は稽古の成果を遺憾なく発揮しているのを目を細めて見守る。受審した子ども達全体のレベルの高さを感じて好感。審査の進行についても、基本の項目を4本ずつたっぴりで行わせ、木刀の稽古法を課題すべで行わせるところに、主催者の先生方の姿勢と見識を感じて敬意。いろいろなことを参考にさせていただく。

令和元年8月31日（土） 牧野明剣館

三中にて。準備体操、素振りの後、始めの礼で今日の昇級審査での智稀君の三級合格を披露。剣道形の稽古。凌と健は菊池さん、鶴長君と、智稀は青田さんと木刀の稽古法。手順が身についてどんどん稽古を進めていけるのが心地よい。面を着けて基本稽古。いつものメニューをきっちりと行う。今日も突きの稽古を入れてみる。突きを心地よく基本稽古に組み入れる工夫。休憩時に11月3日（日）の予定の相談。地稽古。全員で1分で1周。自分の動きと攻防には不満。切り返しで締める。